

4 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

(イ) 男女別在籍者数（平成 29 年 5 月 1 日現在）

性別	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
男	138	133	105	100	476
女	85	73	58	54	270
計	223	206	163	154	746

※休学者の数は在籍者の内数

(ロ) 出身地別在籍者数（平成 29 年 5 月 1 日現在）

出 身 地		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
山形県内	村山	50	33	32	40	155
	最上	12	9	8	13	42
	置賜	30	26	26	23	105
	庄内	44	54	49	32	179
	小計	136	122	115	108	481
山形県外	青森県	10	8	2	2	22
	岩手県	20	21	16	14	71
	秋田県	21	29	10	14	74
	宮城県	10	8	10	11	39
	福島県	14	9	6	2	31
	茨城県		1			1
	栃木県			1		1
	埼玉県	1				1
	千葉県				1	1
	東京都	2	1	1		4
	神奈川県	2	1	1		4
	新潟県	4		1		5
	石川県	1	1			2
	長野県	2	3			5
	静岡県				1	1
	大阪府		1			1
	福岡県		1			1
	中華人民 共和国				1	1
	小計	87	84	48	46	265
合 計		223	206	163	154	746

(ハ)退学・除籍・休学の状況（平成 28 年度）（平成 29 年 5 月 1 日現在）

学 年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		計		累 計
退学者	4		6		1		5		16		323
除籍者	0		0		1		0		1		28
休学者	前期 0	後期 0	前期 2	後期 2	前期 1	後期 0	前期 1	後期 1	前期 4	後期 3	—

② 公益学研究科

(イ)男女別在籍者数

性別	修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
男	9	11	1	0	3	24
女	11	4	0	0	0	15
計	20	15	1	0	3	39

(ロ) 出身地別在籍者数

出身地		修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
山形県内	村山	0	1	1	0	1	3
	最上	1	2	0	0	0	3
	置賜	0	0	0	0	0	0
	庄内	12	9	0	0	0	21
	小計	13	12	1	0	1	27
山形県外	東京	0	0	0	0	1	1
	埼玉	1	0	0	0	0	1
	栃木	0	0	0	0	1	1
	小計	1	0	0	0	2	3
国外	中国	2	2	0	0	0	4
	パキスタン	3	1	0	0	0	4
	ラオス	1	0	0	0	0	1
	小計	6	3	0	0	0	9
合計		20	15	1	0	3	39

(ハ) 退学・休学の状況（平成 28 年度）

学 年	修士課程	博士後期課程	計
退学者	0	0	0
除籍者	0	0	0
休学者	2	0	2

□カリキュラム(2016年度入学生)

●必修科目 ○選択必修科目

(3) 公益学研究科履修科目

<修士課程>

科目区分	科目群 および 個別科目名				
基礎演習	公益社会デザイン				
基礎科目	<政策系科目群>	<公益ビジネス系科目群>	<地域共創系科目群>	<福祉・環境系科目群>	<アジアビジネス系科目群>
	公共政策論 公共経営論 公会計論	企業と社会論 NPO・非営利組織論 産業組織論 組織行動論	ソーシャル・キャピタル論 公共性の社会学 地域デザイン論	福祉政策論 障害者福祉論 環境マネジメント論	アジアビジネス論 国際経済論 東南アジアの歴史と文化
方法論科目	論文作成法 文化交渉論	統計学 社会調査論 英語集中プログラム(EAP) I～IV	共創の技法 国際ビジネスコミュニケーション論	情報処理論 基幹統計調査論	
専門科目	政策研究特論 a (財政) 政策研究特論 b (地域政策に関する学際的研究) 政策研究特論 c (人事行政) 政策研究特論 d (国際関係論) 政策研究特論 e (国際協力論)	公益ビジネス特論 a (経営戦略論) 公益ビジネス特論 b (コーポレートファイナンス論)	地域活性化特論 a (都市・中心市街地) 地域活性化特論 b (中山間・離島地域)	地域福祉特論 a (CSW の新たな機能)	アジアビジネス特論 a (アジア金融論) アジアビジネス特論 b (アジア地域経済論) アジアビジネス特論 c (アジア人材マネジメント論)
発展科目	ビジネスリスクマネジメント論 海外インターンシップ				
プロジェクト科目	プロジェクト a(都市・農村調査演習) プロジェクト b(地域コミュニティにおける「防災」の仕組みづくり・酒田市飛島)				
演習科目	演習 I 演習 II				

<博士後期課程>

《公益学研究特殊講義》		
公益学研究特殊講義 a (国際関係論)		
公益学研究特殊講義 b (地域活性化)		
公益学研究特殊講義 c (森林の歴史と共生)		
公益学研究特殊講義 d (都市建築の活用と地域風景の創出)		
《研究指導科目》		
研究指導 I	研究指導 II	研究指導 III

(4) FD・SDの開催状況

FD (ファカルティ・ディベロップメント) の開催状況

No.	開催日	内 容	参加人数
1	平成 28 年 4 月 20 日	社会と時代の要請に応える人材とは	25
2	4 月 20 日	平成 27 年度後期インターンシップ報告会・COC+協働人材育成部会	25
3	5 月 18 日	コワーキングスペースの活動について	25
4	6 月 8 日	大学院カリキュラム改編について	29
5	6 月 29 日	昨年度の入試の総括と今年度の募集活動について	28
6	7 月 13 日	学生カルテの活用について	25
7	7 月 13 日	アドバイザー制度について	25
8	9 月 14 日	コンプライアンス研修	24
9	10 月 5 日	28 年度春学期インターンシップ報告会	10
10	10 月 12 日	知財支援勉強会	30
11	10 月 19 日	卒論副査の昨年度のコースごとの振り返り及び提出日の見直しについて	27
12	10 月 19 日	授業評価を授業改善につなげる方法について	27
13	11 月 9 日	コース毎のクォーター科目の及びアクティブラーニングの実施状況及びシラバス作成について	29
14	12 月 12 日	東北公益文科大学の発展のために考えたこと (本間政雄大学マネジメント研究会会長講演)	17
15	12 月 14 日	入学前学習について	23
16	12 月 14 日	授業評価を授業改善につなげる方法について その2	23
17	12 月 16 日	地元企業と本学教員との合同勉強会	9
18	平成 29 年 3 月 16 日	平成 28 年度地域・大学協働人材育成プログラム	10
19	3 月 22 日	ICTを活用した教育内容の改善	25
20	3 月 22 日	大学教育再生加速プログラム(AP)の実施方法について	25

SD (スタッフ・ディベロップメント) の開催状況

No.	開催日	内 容	参加人数
1	平成 28 年 7 月 25 日	これからの大学職員に求められる役割等	21
2	8 月 17 日	・ 私立大学等改革総合支援事業に係る取組みについて ・ 吉村プランについて ・ 3つのポリシーに関する点検・評価状況について ・ 本学のグローバル化対応の状況について	29
3	5 月 18 日	・ 学生支援の状況、今後の対策等 ・ 学生対応、相談における心構え等	27

(5) インターンシップの実施状況

No.	業種	企業・団体名	実習生人数
1	官公庁	山形県庄内総合支庁	2
2		山形県最上総合支庁	1
3		山形県置賜総合支庁	2
4		山形市役所	1
5		天童市役所	2
6		寒河江市役所	1
7		東根市役所	1
8		大石田町役場	1
9		南陽市役所	1
10		川西町役場	2
11		酒田市役所	5
12		鶴岡市役所	1
13		三川町役場	1
14		北上市役所	1
15		東北地方整備局酒田港湾事務所	1
16		国立大学法人山形大学	1
17		山形県立図書館	1
18		白河市立図書館	1
19		庄内観光コンベンション協会	1
20	金融	SMBC 日興証券株式会社 山形支店	2
21	情報通信	株式会社エフエム山形	1
22		株式会社コミュニティ新聞社	1
23		株式会社ニゴロデザイン	4
24		株式会社デジコンキューブ	1
25		株式会社オリーブ	1
26	卸・小売	株式会社マリーン 5 清水屋	1
27		株式会社南東北クボタ	1
28		トヨタカローラ山形株式会社	1
29		株式会社八幡自動車商会	1
30	不動産・建設	株式会社東洋開発	1
31		株式会社ブルー	1
32		株式会社鈴木測量事務所	2
33	製造	精英堂印刷株式会社	1
34		TDK 庄内株式会社	1
35	社会福祉	社会福祉法人さくら福祉会	2
36		酒田市地域包括支援センターほくぶ	1

37		医療法人宏友会老人保健施設うらら	1
38		介護老人保健施設ハイマート福原	1
39		介護老人保健施設 昭平苑	1
40		社会福祉法人光風会 特別養護老人ホーム芙蓉荘	1
41		学校法人天真林昌学園 天真幼稚園	2
42		NPO 法人アシスト	1
43		NPO パートナースhipオフィス	1
44	サービス	花巻商工会議所	1
45		株式会社鶴岡自動車学園	1
46		株式会社タマツ	2
47		株式会社ホテルリッチ酒田	1
48		ルートインジャパン株式会社 ホテルルートイン奥州	1
49		株式会社庄交コーポレーション航空事業部	2
50		株式会社日本旅行 山形支店	1
51		株式会社近畿日本ツーリスト東北酒田営業所	1
52		有限会社 KEEP YOU (FREEDOM:鶴岡エスモール内)	1
53		一般社団法人酒田観光物産協会	2
54		公益財団法人山形県国際交流協会	1
55	公益財団法人 秋田県国際交流協会	1	
56	社長インターンシップ	日本農産サポートセンター企業組合	1
57		株式会社亀や	1
58		山形県庄内総合支庁	1
59		酒田米菓株式会社	1
60		特定非営利活動法人あらた	1
61		株式会社ひまわり	1
62		株式会社鯉川酒造	1
合計			80

(6) オフィスアワーの実施状況

2016年度春学期オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	
1 時限 9:00~10:30			平尾 清	I-1							1 時限
2 時限 10:40~12:10	三木 潤一	E-6	伊藤真知子 斉藤 徹史	F-3 I-3			松山 薫	C-3			2 時限
3 時限 13:00~14:30	神田 直弥 澤邊みさ子 狩野 晃一 西村まどか	F-4 A-4 H-2 B-4	遠山 茂樹 鎌田 剛 白旗希実子	E-5 E-4 F-5			森 彰夫 温井 亨	C-5 G-3	スルトノフ	B-1	3 時限
4 時限 14:40~16:10	呉 衛峰 佐野 治 山本 裕樹 小関 久恵 小野 英一	F-2 A-1 I-5 H-3 B-2	古山 隆 広瀬 雄二 菅井マリー 竹原 幸太 松尾慎太郎	E-1 B-3 G-4 H-4 C-4	阿蘇 裕矢	D-4	呉 尚浩 松田 憲	A-2 I-4			4 時限
5 時限 16:20~17:50	阿部 公一 内藤 悟	H-5 C-2	國眼真理子 武田真理子	G-5 E-2							5 時限
6 時限 18:00~19:30							渡辺 暁雄	H-1			6 時限

2016年度秋学期オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	
1 時限 9:00~10:30	神田 直弥	F-4	平尾 清	I-1							1 時限
2 時限 10:40~12:10			伊藤真知子 斉藤 徹史 白旗希実子	F-3 I-3 F-5	温井 亨	G-3	松山 薫	C-3			2 時限
3 時限 13:00~14:30	澤邊みさ子 狩野 晃一 西村まどか	A-4 H-2 B-4	遠山 茂樹 松田 憲 鎌田 剛	E-5 I-4 E-4					スルトノフ	B-1	3 時限
4 時限 14:40~16:10	呉 衛峰 佐野 治 山本 裕樹 小関 久恵 小野 英一	F-2 A-1 I-5 H-3 B-2	古山 隆 三木 潤一 広瀬 雄二 菅井マリー 松尾慎太郎	E-1 E-6 B-3 G-4 C-4	阿蘇 裕矢	D-4	呉 尚浩	A-2			4 時限
5 時限 16:20~17:50	阿部 公一 内藤 悟	H-5 C-2	國眼真理子 武田真理子 竹原 幸太	G-5 E-2 H-4							5 時限
6 時限 18:00~19:30							渡辺 暁雄	H-1			6 時限

(7) 研究実績報告

研究実績報告

氏 名	神 田 直 弥
職位・系・コース	教授・情報特別選抜

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	携帯電話の使用が 自転車走行におよ ぼす影響	東北公益文科大学 総合研究論集	Vol. 31, 15-31	2016	神田直弥
⑤総説・解説等					
1	知って役立つ交通 行動の心理学（第 1回）事故の人的 要因	月刊自動車管理	Vol. 43, No. 4, 36-37	2016	神田直弥
2	知って役立つ交通 行動の心理学（第 2回）知覚と注意	月刊自動車管理	Vol. 43, No. 5, 36-37	2016	神田直弥
3	知って役立つ交通 行動の心理学（第 3回）速度知覚と 距離知覚	月刊自動車管理	Vol. 43, No. 6, 36-37	2016	神田直弥
4	知って役立つ交通 行動の心理学（第 4回）ライト点灯 の効果	月刊自動車管理	Vol. 43, No. 7, 36-37	2016	神田直弥
5	知って役立つ交通 行動の心理学（第 5回）リスクとハ ザード	月刊自動車管理	Vol. 43, No. 8, 36-37	2016	神田直弥
6	知って役立つ交通 行動の心理学（第 6回）認知バイア ス	月刊自動車管理	Vol. 43, No. 9, 36-37	2016	神田直弥
7	知って役立つ交通 行動の心理学（第 7回）安全確認	月刊自動車管理	Vol. 43, No. 10, 36-37	2016	神田直弥
8	知って役立つ交通 行動の心理学（第 8回）学習	月刊自動車管理	Vol. 43, No. 11, 36-37	2016	神田直弥
9	知って役立つ交通 行動の心理学（第	月刊自動車管理	Vol. 43, No. 12,	2016	神田直弥

	9回) 運転行動の自己評価		36-37		
10	知って役立つ交通行動の心理学(第10回) 自動化システムと人間	月刊自動車管理	Vol. 44, No. 1, 36-37	2017	神田直弥
11	知って役立つ交通行動の心理学(第11回) リスク・ホメオスタシス	月刊自動車管理	Vol. 44, No. 2, 36-37	2017	神田直弥
12	知って役立つ交通行動の心理学(第12回) 運転行動の階層モデル	月刊自動車管理	Vol. 44, No. 3, 36-37	2017	神田直弥
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	
・日本交通心理学会 会員 ・日本人間工学会 会員 ・日本心理学会 会員 ・日本プラントヒューマンファクター学会 会員 ・Human Factors and Ergonomics Society Full Member ・日本交通科学学会 会員 ・航空運航システム研究会 会員	
②各種学会における活動状況	
日本交通心理学会編集委員(平成26年～)	
日本交通心理学会運営委員(平成29年～)	
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費	申請の有無	採択状況	採択金額
関係	有	種別：非採択	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田警察署と協力し、運転免許返納者に対するインタビュー調査を通じた返納に関わる課題整理と返納促進に向けた方策の検討を行っている。

研究実績報告

氏 名	伊 藤 眞知子
職位・系・コース	教授・研究科長・文化交流系・観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	ワーク・ライフ・ バランスのすすめ ～男女共同参画の 視点から～	『山形教育』山形 県教育センター	378 号： 16-19	2016 年 11 月（平成 28 年 11 月）	伊藤眞知子
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	産学官の連携によ る女性人材育成プ ログラムの開発に 関する研究	第 3 回地域課題 解決全国フォー ラム in 庄内		2016（平成 28）年 12 月 3 日	伊藤眞知子、 坂本静香

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
日本社会学会、日本家族社会学会、日本社会教育学会、日本公益学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況		採択金額
	有 ・ ☐ 無	種別：		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名		契約金額
	1 件	酒田市		200,000 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・平成 28 年度大学まちづくり地域政策形成事業「庄内地域の地域人材育成にかかる社会的認証システムに関する研究」(20 万円、研究代表者：伊藤真知子)

研究実績報告

氏名・生年月日	國眼 眞理子
職位・系・コース	教授 リベラルアーツ

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）日本教育心理学会、日本キャリア教育学会、日本青年心理学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市政策推進課	40 万 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

研究実績報告

氏 名	遠山茂樹
職位・系・コース	教授、リベラルアーツ

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書 名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁 (一)	発表・発 行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	<i>Constitutio Domus Regis</i> に みる王の狩猟スタ ッフー覚書ー	東北公益文科大学 総合研究論集	第 30 号	2016 年、7 月	遠山茂樹
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）史学会、日本西洋史学会、社会経済史学会、駿台史学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無 有 ・ 無	採択状況 種別：	採択金額 円
-----------	----------------	-------------	-----------

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	（申請・取得内容）
地域課題関係	（地域課題解決のための研究・活動状況） 人材育成の方法としての「聞き書き」に関する領域横断的研究 東北公益文科大学「地（知）の拠点」整備事業

教 員 業 績 調 書

氏 名	温井 亨
職位・系・コース	交流文化系観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）日本造園学会、日本都市計画学会、日本建築学会、地中海学会
②各種学会における活動状況 東北支部長、ランドスケープ遺産インベントリー作成委員会委員、風景計画推進委員会委員（以上、日本造園学会）
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：	0 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 庄内・地域デザイン研究所 研究所員

教 員 業 績 調 書

氏 名	佐野 治
職位・系・コース	教授 地域福祉コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1	なし				
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	『地域福祉計画の政策立案過程における一構想―新たな機能を持つCSWを中心として―』	ブックコム	頁(P1-p79)	2016(平成28)年4月	佐野治
	『ソーシャルワーク教育と社会貢献に関する―研究～現代社会の福祉諸問題に即応できる実践力の養成～』	ブックコム	頁(P1-P140)	2016(平成28)年6月	佐野治
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	なし				
査読無し学術論文等					
1	なし				
④紀要等					
1	対象関係論の存在論的基礎付けによるケースワーク及び地域福祉の実践理論のための素描(中盤)	東北公益文科大学	総合研究論集第30号 頁(P55-P76)	2016(平成28)年7月	佐野治
⑤総説・解説等					
1	なし				
⑥国際会議発表論文等					
1	なし				
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	なし				

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
日本福祉教育・ボランティア学習学会
日本社会福祉教育学会
②各種学会における活動状況
なし

③学会賞等の受賞状況 なし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：不採用	円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	愛知県長久手市社会福祉協 議会	300,000 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 最上郡舟形町における総合事業（介護保険）への支援と助言

研究実績報告

氏 名	澤邊 みさ子
職位・系・コース	教授・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 社会政策学会、日本職業リハビリテーション学会、日本ニュージーランド学会 日本公益学会、日本社会福祉学会、北ヨーロッパ学会	
②各種学会における活動状況 日本ニュージーランド学会 監事（2010年4月～） 日本公益学会 理事（2012年4月～）	
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	鳥海山・飛島ジオパーク構想 推進協議会	154,000 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
------------------------	-----------

地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・酒田市日向地区における「親子防災キャンプの実施―地域コミュニティにおける「防災」の仕組みづくり―」（COCアクションプロジェクトおよびプロジェクト型応用演習（春学期・秋学期） ・酒田市飛島における地区防災計画策定のための基礎研究（COC地域課題基礎研究費＜プロジェクト型＞及びプロジェクト型応用演習（春学期） ・酒田市宮浦学区における調査研究活動（地域福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） ・小学生を対象とした「公益を考える事業」の企画・実践（COC庄内カレッジ事業、及び応用型プロジェクト演習） （以上、すべて東北公益文科大学教員の共同研究・活動）
--------	---

研究実績報告

氏 名	阿部 公一
職位・系・コース	教授・地域経営系・政策

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	高校における年金 教育の在り方	『生活共同組合 研究』公益財団法 人生協総合研究 所	通巻 489 号、B5 版 9 頁	2016（平成 28）年 10 月	単著
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	高校の新設「公共」 科目における年金 教育の在り方につ いて	日本年金学会 2016 年度第 1 回 研究会		2016（平成 28）年 9 月 24 日 於：東北公 益文科大学	個人発表
2	国民年金の加入手 続き等に関する年 金教育と情報発信	第 36 回日本年金 学会研究発表会		2016（平成 28）年 10 月 28 日、於： 全国情報サ ービス産業 厚生年金基 金	個人発表
3	年金を巡る情報発 信のあり方	第 36 回日本年金 学会研究発表会		2016（平成 28）年 10 月 28 日、於： 全国情報サ ービス産業 厚生年金基 金	シンポジウム にパネリスト として参加 モデレーター は権丈善一氏 （慶応大学商 学部教授）
4	高校の新設「公共」 科目における年金 教育の在り方につ いての提言	年金総合研究所		2016（平成 28）年 11 月 18 日	招待講演

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須) 日本年金学会
②各種学会における活動状況 日本年金学会の 2016 年度第 1 回研究会の開催を東北公益文科大学にてお引き受けし、開催校としての役割を果たし、日本年金学会へ貢献した。さらに本年度は、第 36 回大会での個人発表及びシンポジウムのパネリストを引き受けた。
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ ☒ 無	種別：	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

研究実績報告

氏 名	呉 衛峰
職位・系・コース	教授・交流文化系・国際教養コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	浅談『国歌八論』 在日本文学批評史 上の意義――以 『玩歌論』中闡述 的文芸思想為中心	李征等編集『日本 文学研究：東京・ 上海・広州――漂 泊の身体與文本』 日本文学研究会 広州年会論文集	84－9 4頁。	2016年 8月、青島 出版社（平 成28年）	呉衛峰
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	『国歌八論』をめ ぐる論争について の覚書――漢文文 献との関りを中心 に	東北公益文科大学	(1)－(8)	2016年 12月	呉衛峰
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	日中文学の交渉に ついて	日中文学の交渉 について	招待講演	2016年 5月18日 （平成28 年）於鶴 岡中央高等 学校	呉衛峰
2	詩歌合から見る和 漢並存――『文安 詩歌合』を中心に	日本比較文学会 第78回全国大 会		2016年 6月19日 於東京大学	呉衛峰
3	賀茂真淵と『国歌 八論』をめぐる論 争	中国日本文学研 究会十五回年会 兼国際学術検討 会		2016年 8月14日 於杭州師範 大学	呉衛峰

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等 (必須) 国際比較文学会 (ICLA)、日本比較文学会、東大比較文学会、和漢比較文学会、東方学会、 中国学会、日本文学研究会 (中国)
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：基礎研究C、Aランク 落選	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

研究実績報告

氏 名	呉 尚 浩
職位・系・コース	交流文化系 観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「飛島における津波堆積物の調査及びその活用について」報告書	鳥海山・飛島ジオパーク構想推進協議会・委託調査			呉尚浩（発表者）・伊藤眞知子・澤邊みさ子・小関久恵・岸本誠司
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「山形県酒田市飛島における地区防災計画策定のための基礎研究」	地域課題解決全国フォーラム in 庄内 2016			呉尚浩（発表者）・伊藤眞知子・澤邊みさ子・小関久恵・岸本誠司
2	多様な住民参画による地域コミュニティの地域課題解決の推進方法に関する調査研究	地域課題解決全国フォーラム in 庄内 2016			武田真理子（発表者）・伊藤眞知子・呉尚浩・小関久恵・澤邊みさ子・渡辺暁雄
3	地域みんなで守る海岸林-「出羽庄内公益の森づくりを考える会」の活動を中心に	TAMARIX（NPO 法人地球緑化センター機関誌）	Vol. 133	2016 年 11 月	呉尚浩

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等（必須）
日本環境社会学会 日本公益学会 日本海岸林学会 日本沿岸域学会 地区防災計画学会 庄内社会基盤技術フォーラム（土木学会認定CPDプログラム）

②各種学会における活動状況

地区防災計画学会参加（第3回大会、京都大学・宇治キャンパス2017年3月4日）

COC地域課題解決全国フォーラム in 庄内（2016年12月）にて報告

庄内社会基盤技術フォーラム（2017年1月）に参加、講演会司会

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ ☒ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	鳥海山・飛島ジオパーク構想推進 協議会	182952 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 「山形県酒田市飛島における地区防災計画策定のための基礎研究」（呉 尚浩、伊藤真知子、澤邊みさ子、小関久恵、岸本誠司）30万円

研究実績報告

氏 名	松田 憲
職位・系・コース	教授・交流文化系・国際教養コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
・日本比較文化学会
・大学英語教育学会
・全国語学教育学会
・外国語教育メディア学会
・Teachers of English to Speakers of Other Languages International Association
②各種学会における活動状況
所属学会の研究発表大会にできるだけ参加した。
③学会賞等の受賞状況
特になし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円

4. その他

特許等 知的財産権の申 請・取得	(申請・取得内容) 特になし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 特になし

研究実績報告

氏 名	古山 隆
職位・系・コース	教授・エネルギー特別専攻

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1	なし				
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	なし				
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	なし				
査読無し学術論文等					
1	なし				
④紀要等					
1	なし				
⑤総説・解説等					
1	なし				
⑥国際会議発表論文等					
1	なし				
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	なし				

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 環境資源工学会、資源・素材学会、自動車技術会、
②各種学会における活動状況 自動車技術会リサイクル技術部門委員会委員長
③学会賞等の受賞状況 なし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	無	種別：	円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1 件	独立行政法人国立青少年教育振興機構（子どもゆめ基金）	円 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 庄内地域の小学生を対象とした科学体験教室「身近なもので電気をつくろう！」を実施

研究実績報告

氏 名	武田 真理子
職位・系・コース	地域経営系 地域福祉コース 教授

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「ニュージーランドにおける官民協働の社会保障制度の構築と児童福祉制度改革の概要」	東北公益文科大学ニュージーランド研究所第 41 回研究会		2016 年 12 月 15 日	武田真理子
2	「これからの地域づくりと住民自治組織における課題解決のポイント」	鶴岡市東栄地区町内会連絡協議会研修会		2017 年 2 月 25 日	武田真理子
3	「これからの地域づくりと地域ビジョンの必要性について」	藤島地区自治振興会・第 1 次地域づくり 5 ヶ年計画の発表会		2017 年 1 月 8 日	武田真理子
4	「コミュニティ推進計画を活かした地域づくり」	平成 28 年度 鶴岡市地区担当職員研修会		2016 年 12 月 15 日、12 月 22 日	武田真理子
5	「地域の課題にどう向き合っていくのか～対話・協働からの地域づくり～」	山形県最上総合支庁 平成 28 年度区長協議会等役員研修会		2016 年 11 月 24 日	武田真理子
6	「コミュニティづくりと防災」	鶴岡市第一学区平成 28 年度「誰も孤立させない絆づくりプロジェクト」研修会		2016 年 11 月 21 日	武田真理子

7	「地域での「新たな支え合い活動」の取り組みについて～知恵と工夫で超高齢化社会を生きる～」	平成 28 年度 亀ヶ崎社会福祉協議会会員研修会		2016 年 7 月 27 日	武田真理子
8	「地域ビジョンをどう描くか」	平成 28 年度 鶴岡市住民自治組織代表者研修会		2016 年 7 月 22 日	武田真理子
9	「人口減少下における子育て支援・地域コミュニティの課題と対応方向」	鶴岡市議会「人口減少・地域活性化対策特別委員会」委員勉強会		2016 年 7 月 15 日	武田真理子
10	「地域の多様な課題にどう向き合っていくのか～対話と協働の推進方法としての地域円卓会議、地域ワークショップ～」	新庄市 平成 28 年度地域リーダー講座		2016 年 6 月 10 日、6 月 24 日	武田真理子

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須)
日本ニュージーランド学会 (理事)、社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会
②各種学会における活動状況
日本ニュージーランド学会では平成 28 年度までの 4 年間、学会誌編集担当理事を務めた。
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市大学まちづくり政策形成事業	200,000 円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	鶴岡市「地域共創コーディネーター養成プログラム事業」	1,000,000 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・平成 27 年度地域課題基礎研究 (プロジェクト型)「多様な住民参画による地域コミュニティの地域課題解決の推進方法に関する調査研究」(継続中) ・庄内オフィス地域リーダー育成部会長 (地域共創コーディネーター養成プログラムをはじめとする庄内地域カレッジの企画と運営)

研究実績報告

氏 名	菅井マリー
職位・系・コース	准教授・交流文化系・国際教養コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	Bi-polar and schizophrenia connective genetic mutation in adolescence	EC Psychology and Psychiatry Open Access Journal	Vol 1 pp.158-159	Issue 5 2016	
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	London. International Conference on Adolescent and Child Psychiatry. September 2016.				
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）	
Society for Applied Anthropology (SFAA)	
SMA: Society for medical anthropology	
SCCR: Society for Cross cultural Research	
②各種学会における活動状況	
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

研究実績報告

氏 名	三木 潤一
職位・系・コース	准教授 地域経営系 経営コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1	博士学位取得済み				
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	新規で記載すべき 事項なし				
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	“Contracting-Out of Household Waste Collection Services in Japan”	The Singapore Economic Review	18 pages total	Forthcoming(2016 年 2 月 25 日に accept、H27 教員 業績調書の本欄に は未記入)	Norimichi Matsueda and Jun' ichi Miki
査読無し学術論文等					
1	新規で記載すべき 事項なし				
④紀要等					
1	「地域包括ケアシ ステムによる医 療・介護費用の抑制 ーマクロ計量モデ ル分析による検討 ー」	2015 年度（平 成 27 年度）プ ロジェクト型 研 究 報 告 書 （東北公益文 科大学）	全 37 頁	2016 年 3 月 28 日	三木潤一・水 田健輔・齋藤 建児・高林喜 久生・入江啓 彰
2	「地方公共団体 における行財政健 全化に向けた事務 事業評価指標の 検討」	平成 28 年度大 学まちづくり 地域政策形成 事 業 報 告 書 （酒田市）	全 18 頁	2017 年 2 月 28 日	三木潤一・松 尾慎太郎・小 嶋健太・川崎 雄二郎
⑤総説・解説等					
1	記載すべき事項 なし				
⑥国際会議発表論文等					
1	新規で記載すべき 事項なし				
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	“Contracting-Out of Household Waste Collection Services in Japan”	「公益学＋経 済学」2 大学合 同ワークショ ップ（東北公 益文科大学）	第 2 回	2016 年 9 月 6 日	Norimichi Matsueda and Jun' ichi Miki

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須)
日本財政学会 日本地方財政学会 廃棄物資源循環学会 日本経済学会
②各種学会における活動状況
東北公益文科大学と関西学院大学の有志教員（東北公益文科大学 2 名・関西学院大学 4 名）による「公益学＋経済学」2 大学合同ワークショップ（第 2 回）を主催（東北公益文科大学、2016 年 9 月 5 日・6 日）
③学会賞等の受賞状況
記載すべき事項なし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：平成 29 年度（2017 年度）基盤研究（C）（一般）に申請中	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市	200,000 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 記載すべき事項なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市の平成 28 年度大学まちづくり地域政策形成事業における受託研究「地方公共団体における行財政健全化に向けた事務事業評価指標の検討」に研究代表者として取り組み、平成 29 年度も継続の予定である。

研究実績報告

氏 名	渡辺 暁雄
職位・系・コース	准教授・交流文化系・観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「台湾の若者世代における『台湾アイデンティティ』の現状－『台湾国立歴史博物館』と戦後政治状況の変遷を通して－	明治学院大学社会学部付属研究所「研究年報」	47号 p. p. 17-28	2017（平成29）年3月（予定） 既に校了	村上雅昭，矢澤朝子，渡辺暁雄 ※渡辺が全て執筆
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本社会学会，日本生活学会，日本公益学会，社会文化学会
②各種学会における活動状況 社会文化学会：8月27・28日に行われた2016年度夏季研究集会において酒田市の歴史文化をテーマにフィールドワークを主導。
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	☒ 有　・　無	種別：不採用	円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	鶴岡市加茂地区自治振興会	368,000 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・ 鶴岡市加茂地区におけるまちづくり（主催：加茂地区自治振興会） ・ 秋田県にかほ市「人づくり・まちづくりセミナー」を主導（主催：にかほ市生涯学習課）

研究実績報告

氏 名	広瀬雄二
職位・系・コース	准教授 情報特別選抜

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁 (ー)	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書 (翻訳含む) 及び辞書等					
1	シェルスクリプト +データベース活 用テクニック	カットシステム	400	2016-05 (H28)	
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等 (招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須) 情報処理学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市情報管理課 (2 年)	1, 200, 000 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

研究実績報告

氏 名	松 山 薫
職位・系・コース	准教授 交流文化系 観光まちづくりコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	山形県庄内地域における若年人口の流出と親世代の意識	地学雑誌	125 (4), 493-505	2016 (平成 28) 年	山口泰史・江 崎雄治・松山 薫
2	「日輪兵舎」がみた戦中と戦後－山形県の現存建物の事例から－	山形大学歴史・地理・人類学論集	18, 6-10	2017 (平成) 年 (受理済, 印刷中)	松山 薫
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	日輪兵舎の創案者に関する考察（一）	東北公益文科大学総合研究論集	31, 65-71	2016 (平成 28) 年	松山 薫
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	石原莞爾と「日輪講堂」－満州から庄内砂丘へ－【学会発表】	2016 年度東北地理学会秋季学術大会（宮城教育大学）		2016 (平成 28) 年 5 月	松山 薫
2	「日輪兵舎」がみた戦中と戦後－山形県の現存建物の事例から－【招待講演】	山形大学歴史・地理・人類学研究会第 18 回大会（山形大学小白川キャンパス）		2016 (平成 28) 年 6 月	松山 薫
3	日輪兵舎が歩んできた歴史【招待講演】	金山町教育委員会 歴史学講座第 4 講（金山町中央公民館・カムロファーム倶楽部）		2016 (平成 28) 年 10 月	松山 薫
4	建物の歴史的価値の発掘とその保全に関する研究－「日輪講堂」を事例に－【学会発表】	第 3 回地域課題解決全国フォーラム		2016 (平成 28) 年 12 月	松山 薫

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本地理学会，人文地理学会，東京地学協会，東北地理学会，歴史地理学会，経済地理学会，お茶の水地理学会，軍事史学会，日本アイランド協会，日独協会，日本地図学会，日本観光研究学会

②各種学会における活動状況

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	☒ 有 ・ 無	種別：	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) H28 年度地域課題基礎研究「建物の歴史的価値の発掘とその保全に関する研究」(配分額 200 千円)に関する研究

研究実績報告

氏 名	ジハン、シャザダナイヤール
職位・系・ コース	教授・アジア人材養成

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
⑥ 士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	Islamic Finance: PE Pushed Investment Strategy for Rare Earth Ventures	ICIBF 2016 Makkah, Saudi Arabia			Umul Quraa University
2	A Paradigm for Strategic Alignment of Private Equity Investment	Bangkok Annual Social Science & Business Research Conference 2016			Ambassador Hotel Bangkok Thailand
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	上記と同様				

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等（必須） American Accounting Association (AAA) Japan Society for Applied Management Japan Association for Management Systems Japan Creativity Society IEEE Asia Pacific Finance Association European Financial Management Association (Referee) ・ Journal for Applied Statistics (Referee)
② 各種学会における活動状況 上記に記載同様

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	⑦ ・ 無	種別：不採択 A	円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1	ICIBF 2016 Makkah, Saudi	円
		Arabia 学会参加招待参加費	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

研究実績報告

氏 名	西村まどか
職位・系・コース	准教授 情報

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）日本物理学会
②各種学会における活動状況 会員
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：C、不採択	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	（申請・取得内容）
地域課題関係	（地域課題解決のための研究・活動状況）

研究実績報告

氏 名	齊藤 徹史
職位・系・コース	准教授 地域経営系 政策コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
① 博士論文					
1					
② 著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③ 学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	「町長が行った行政財産である土地の目的外使用許可処分の取消しを求めた住民訴訟で、使用許可処分と使用料減免処分は一体の関係にあり、使用料減免処分を含めた使用許可処分は財務会計行為に該当するが、当該処分に係る町長の裁量権の行使に逸脱又は濫用を認めることはできないとした事例」	法学（東北大学法学会）	80 巻 3 号 95-103 頁	2016 年（平成 28 年）	齊藤徹史 ※東北大学公法判例研究会で報告した内容を原稿化し、研究会幹事（東北大学大学院教授）が内容を確認・審査して掲載された。
査読無し学術論文等					
1					
④ 紀要等					
1	「ニュージーランドの法と政策研究序説」	東北公益文科大学総合研究論集	31 号 53-63 頁	2016 年（平成 28 年）	齊藤徹史・森直子
⑤ 総説・解説等					
1					
⑥ 国際会議発表論文等					
1					
⑦ 口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「地域のイノベーションと経済活性化を促進する新たな PFI の研究」	日本地域課題解決学研究会 in 庄内	第 3 回	2016 年（平成 28 年）	齊藤徹史

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
日本公法学会 日本財政法学会 日本経済法学会 日本高等教育学会 日本地域学会

自治体学会 東北大学公法判例研究会 東北大学経済法研究会
②各種学会における活動状況 日本地域学会、自治体学会、日本財政法学会財政法研究会、東北大学公法判例研究会、東北大学経済法研究会において、機会をみて、研究報告を適宜行っている。
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	①有 ・ 無	種別：A	円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	荘内銀行	250,000 円
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・地域の公共施設・行政サービスの将来像を考えるために、荘内銀行との共同研究を実施した。研究の一環として、本学渡部学長特別補佐・荘内銀行頭取・遊佐町長・酒田市副市長が出席するシンポジウム（コーディネーター：斉藤）を開催した。ゼミの学生には庄内の公共施設の維持管理・運営方法を調査させ、結果と提言をシンポジウムで発表させた。 ・地域課題の解決を社会人になってからのライフワークとすること、就職活動で役立てることを目的として、仙台国税局・酒田税務署・山形税務署と共同して、ゼミ生に税務署職員の業務を模擬体験する実践型授業を行った。この取組みは国税庁長官が出席する全国国税局長会議で報告され、全国に「酒田モデル」として展開されることになった。 ・同様の実践型授業は荘内銀行でも実施した。参加したゼミ生は金融機関への就職に強い関心を示すに至った。 ・地域課題を解決するためには、国の政策について知ることが必要となる。そこで、大学院で政策研究特論b（地域政策に関する学際的研究）を開講することにし、本学佐々木毅客員教授、東北経済産業局長、仙台矯正管区長、仙台国税局総務部長、東北財務局総務部長、会計検査院事務総長官房第一局租税検査第一課長、公正取引委員会事務総局官房監査官、元・法務省矯正局長、元・経済産業省大臣官房審議官・元・近畿地方整備局長を招へいして授業を行った。県、庄内町、にかほ市、酒田市、遊佐町、荘内銀行の職員が出席し、地域課題の解決に向けたヒントを学ぶ機会を作った。合わせて、本学の存在感を高め、派遣大学院生の増加に向けた広報活動に貢献した。

研究実績報告

氏 名	鎌田 剛
職位・系・コース	准教授・地域経営系・地域福祉

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	地域医療連携から「社会連携」へー先進地域の事例報告	第 18 回 日本医療マネジメント学会学術総会		4 月 23 日福岡国際会議場	鎌田剛・瀬尾利加子
2	学生団体「やまがた多職種連携学生ネットワーク」による市民意識啓発の実践	第 18 回 日本医療マネジメント学会学術総会		4 月 23 日福岡国際会議場	鎌田剛・瀬尾利加子

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本医療マネジメント学会、日本医療・病院管理学会、日本公益学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 （研究分担者として）	種別：基盤C 「若年者の人口流出メカニズムの解明：社会関係資本の観点から」（代表堀内史朗）	4,750,000 円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1 件	山形県在宅医療推進補助金	712,000 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 所属している庄内オフィスが運営しているＣＯＣ，ＣＯＣ＋における 日常の活動（地域の各種団体との渉外、会議参加、全国フォーラム等の イベント）として、地域課題に取り組んでいる。研究についても、地域 課題基礎研究を取得し（代表：山口特任講師）庄内町立谷沢地区の活性 化策を検討している。

研究実績報告

氏 名	狩野 晃一
職位・系・コース	准教授・交流文化系・国際教養コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発 行西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	『完訳中世イタリア 民間説話集 — II Novellino』（翻訳： 伊→日）	東京：論創社	214pp.	2016（平 成 28 年）	瀬谷幸男、 狩野晃一 （共訳）
2	『イギリス史を知る ための50章』（「ロー マン・ブリテン」「ア ングロ・サクソン人の イングランド」）	東京：明石書店	pp. 22-27, pp. 35-40	2016 年 （平成 28 年）	川成洋（編） 狩野晃一他 （共著）
3	『チョーサー研究会 会報：Bulletin of the Society for Chaucer Studies』	チョーサー研 究会	第 3 号 i+21pp.	2016 年 （平成 28 年）	狩野晃一 （編著）
4	「Reconsideration on the Textual Transmission of <i>the St. Iulienne</i> in the London British Library, MS Royal 17. A. xxvii」	Frankfurt am Main/Oxford: Peter Lang		2017 (in press) （平成 29 年）	Harumi Tanabe & <u>Koichi Kano</u> (eds.) （共編著）
5	「Old Norse and French Loan- words in AB language: Revisited」(共著 Ono Shoko & Koichi Kano)	Frankfurt am Main/Oxford: Peter Lang		2017 (in press) （平成 29 年）	Harumi Tanabe & <u>Koichi Kano</u> (eds.) （共編著）
6	翻訳 久保内端郎（著） 「'Modernity and Archaism in the <i>Ancrene Wisse</i> Revisited」(日)→(英)	Frankfurt am Main/Oxford: Peter Lang		2017 (in press) （平成 29 年）	Harumi Tanabe & <u>Koichi Kano</u> (eds.) （共編著）
7	<i>Chaucer's Global Pilgrimage: Stories of The Canterbury Tales' worldwide readers, translators, and scholars</i> （“Preamble to the First Japanese Translation of <i>The</i>	Wiley Online Library		2017 (in press) （平成 29 年）	Candace Barrington & Jonathan Hsy

	<i>Canterbury Tales: a social mirror and a cultural bridge</i>)				
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	「安井稔・久保田正人『知っておきたい英語の歴史』東京：開拓社, 2014, xii+253 pp.」	<i>Studies in Medieval English Language and Literature</i>	第 31 号 pp.121-132	2016 年 (平成 28 年)」	狩野晃一 (単著)
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「On the Variant Spellings and Their Sounds of Old English -ht in the Early Middle English Period : a Brief Survey」	東北公益文科大学『東北公益文科大学総合研究論集』	第 31 号 pp. 1-13	2016 (平成 28 年)	狩野晃一 (単著)
⑤総説・解説等					
1	なし				
⑥国際会議発表論文等					
1	「Digression or Progression?: An Analysis of the Variant Spellings of Old English -ht in the Early Middle English Period」	International Medieval Congress, 2016, 於 University of Leeds (Leeds, UK)		2016 年 (平成 28 年)	Koichi Kano (単独)
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
	なし				

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
日本英文学会、日本中世英語英文学会、日本中世英語英文学会東支部、チョーサー研究会、New Chaucer Society、Early English Text Society
②各種学会における活動状況
日本中世英語英文学会 大会準備委員 (平成 27 年より現在に至る)
日本中世英語英文学会東支部 幹事 (平成 26 年より現在に至る)
第 30 回日本中世英語英文学会東支部 学会招致 (本学開催 平成 27 年 6 月 27 日)
日本中世英語英文学会 大会準備委員会 副委員長 (平成 28 年 12 月より)
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	☒ 有 ・ 無	種別：若手 (B)	2, 400, 000 円
受託研究関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市教育員会 (國眼先生、白旗先生と共同)	400, 000 円

受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市（グローバル・セミナー：国際教養コース主催）	500, 000 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) なし

研究実績報告

氏 名	小野 英一
職位・系・コース	准教授・地域経営系・政策コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「公益」を活かした新たな観光：「公益観光」の展望と課題ー山形県酒田市の取組事例を中心にー	地域活性学会 第 8 回全国研究大会		2016 年 平成 28 年	小野英一

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
自治体学会、地域活性学会、日本行政学会、日本公益学会、日本公共政策学会 日本地域政策学会、非営利法人研究学会
②各種学会における活動状況
・ 地域活性学会：全国研究大会にて研究発表 ・ 日本公共政策学会：全国研究大会に参加 ・ 日本公益学会：秋季研究大会に参加
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	（申請・取得内容）
地域課題関係	（地域課題解決のための研究・活動状況）

研究実績報告

氏 名	Sultonov Mirzosaid
職位・系・コース	准教授、交流文科系、国際教養コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	Dynamic conditional correlation and causality relationship among foreign exchange, stock and commodity markets: Evidence from 2014 Russian financial crisis	Economics Bulletin	Vol. 36 (2), pp. 949-962	June, 2016	Sultonov M.
2	The Russian Financial Crisis and Workers' Remittances to Tajikistan and the Kyrgyz Republic	Journal of Reviews on Global Economics	Vol. 5, pp. 344-353	Dec., 2016	Sultonov M.
査読無し学術論文等					
1	Interdependence between the exchange rates of the ASEAN and the major economies of Asia	総合研究論集、東北公益文科大学	Vol. 30, pp. 1-14	July, 2016	Sultonov M.
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	Remittances and linkage between foreign exchange markets: Evidence from the CIS countries	The 15th International Conference of the Japan Economic Policy Association, JEPA, Hakodate		October, 2016	Sultonov M.
2	Macroeconomic consequences of dependency on international remittances: The cases of Tajikistan and the	ICAS 2016, Toronto		June, 2016	Sultonov M.

	Kyrgyz Republic				
3	The Russian crisis and changes in the dynamic correlation among foreign exchange, stock and commodity markets	The XVII April international academic conference on economic and social development, Moscow		April, 2016	Sultonov M.
4	Dynamic conditional correlation and causality-in-variance among the exchange rates of the ASEAN and major economies of Asia	The 12th International Conference of WEAL, Singapore		January, 2016	Sultonov M.
5	Dynamic linkage between stock markets of Russia and Kazakhstan: Effects of ruble devaluation and energy price fall	The 14th International Conference of the Japan Economic Policy Association, JEPA, Tokyo		November, 2015	Sultonov M.
⑦口頭発表等 (招待講演・学会発表等)					
1	Fiscal Stimulus and Unemployment Dynamics	The 12th International Conference of WEAL, Singapore		January, 2016	Author: Ch. Kuo Discussant: Sultonov M.

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須)
比較経済体制学会 (member); Western Economic Association International (member); Social Indicators Research (referee); Applied Economics (referee); Journal of Reviews on Global Economics (referee)
②各種学会における活動状況
Presenter, discussant and referee works
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別 :	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 市民大学講座：総合計画を考えるシリーズ～もっと酒田を知ろう』。 講義：「経済学の視点からみた酒田」、2回

研究実績報告

氏名	竹原幸太
職位・系・コース	准教授・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	新・基礎からの社会福祉 7 子ども家庭福祉 木村容子・有村大士編（担当：分担執筆，範囲：7 章第 5 節非行）	ミネルヴァ書房 2016 年 4 月			
2	精神保健の課題と支援 第二版 松久保章・坂野憲司・舟木敏子編（担当：分担執筆，範囲：5 章精神保健の視点から見た家族の課題）	弘文堂 2016 年 3 月			
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	教護院・養護施設における実践要領の形成過程と共通する援助原理	司法福祉学研究 (16) 49-66 2016 年 8 月			
	修復的少年司法の再構築－教育領域の修復的実践から修復的少年司法への架橋（研究ノート）	子どもの権利研究 (27) 235-247 2016 年 2 月			
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	今、少年司法で検討すべきは対象年齢の引き下げ問題なのか？－子どもと司法この 1 年	『子ども白書 2016』本の泉社 126-128 2016 年 8 月 [依頼有り]			

2～13	連載 子どものあれと向き合う（前12回）	『子どものしあわせ』 2106 年 1～12 月号、 pp.30～35×12			
14	奈良県・早稲田大学連携事業 県立学校（高等学校、特別支援学校）における「地域と共にある学校づくり」の事業実施効果と教職員への影響最終報告書	pp.1-78 2016 年 3 月、 早稲田大学文学学術院			増山均・阿比留久美・斉藤史夫・竹原幸太・山田恵子・王聡
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	大正少年法施行期における少年保護実務家の少年保護思想に関する研究－1922年から1930年代半ばを対象として	第44回社会事業史学会（於石巻専修大学） 2016 年 5 月 14 日			
2	第3セッション 立ち直り支援の実情と展望－2000年代以降の青少年対策を中心として [招待有り]	少年非行政策フォーラム日韓学術交流第9回大会 2016 年 12 月 3 日			

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）

日本教育学会、日本社会教育学会、日本教育法学会、日本社会福祉学会、日本司法福祉学会、社会事業史学会、日本犯罪社会学会、日本子ども虐待防止学会

② 各種学会における活動状況

社会事業史学会で報告（2016 年 5 月）、日本社会福祉学会より書評依頼（2017 年 2 月）

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	○有 ・ 無	種別：基盤C 戦前少年院実践における少年保護思想に関する研究	80 万 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

研究業績報告

氏名	山本 裕樹
職位・系・コース	講師・リベラルアーツ

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	インターネット望遠鏡を使った小惑星の軌道決定	東北公益文科大学総合研究論集	第 30 号	2016 年（平成 28 年）	山本裕樹
⑤総説・解説等					
1	インターネット望遠鏡への招待	酒田市立図書館 図書館報 光丘	第 150 号	2017 年（平成 29 年）	山本裕樹
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本物理学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	①有 ・ 無	種別：基盤研究（C）の分担 2 件	分担 130, 000 円, 195, 000 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

研究実績報告

氏名	白旗 希実子
職位・系・コース	講師・リベラルアーツ

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	白旗希実子「イギリスにおけるソーシャルワーカーの継続的能力・職能開発に関する一考察」	産業教育学研究	第 46 巻第 2 号、pp. 19-26.	2016（平成 28）年	
2	白旗希実子「東北の一地方都市における母親の「育児不安」に関する研究」	東北教育学会研究紀要	第 20 号、ページ未定	2017（平成 29）年	
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	白旗希実子「「子育て支援」領域における NPO の設立・維持プロセス」	東北公益文科大学総合研究論集	第 31 号、pp. 33-52.	2016（平成 28）年	
（報告書）					
1	國眼真理子・白旗希実子「『放課後学習支援』活動における大学生の学習効果と課題」	平成 28 年度 大学まちづくり政策形成事業研究成果報告書	pp. 19-55.	2017 年	國 眼 真 理 子・白旗希実子
2	白旗希実子・國眼真理子「教育支援活動の実施体制とそのサポート方法に付いてのヒアリング調査」	同上	pp. 56-67.	2017 年	白旗希実子・國眼真理子
—	（白旗希実子「夏休み宿題お手伝い教室」活動報告）	（同上）	（p. 9.）	（2017 年）	※活動の内容を 1 ページにまとめたもの
—	（白旗希実子「地域課題解決フォーラムにおける	（同上）	（pp. 68-73）	（2017 年）	※口頭発表 2 の内容を再掲

	発表))				
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	白旗希実子「放課後児童クラブの設立過程と現状」	東北教育学会	第 74 回大会	2017 年 3 月 4 日	白旗希実子
2	國眼真理子・白旗希実子他「酒田市における放課後学習支援」	地域課題解決フォーラム	第 3 回	2016 年 12 月 3 日	國 眼 真 理 子・白旗希実子・大泉春風・金田直・菊地由浩・須藤洋祐・本間亮平・横山広太郎

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	
日本教育社会学会 日本高等教育学会 日本産業教育学会 日本社会福祉学会 日本介護福祉学会 日本保健医療社会学会 東北教育学会 東北社会学会 山形県社会福祉士会 日本栄養改善学会	
②各種学会における活動状況	
東北社会学会 2007～2009 年 紀要編集委員	
③学会賞等の受賞状況	
2007年10月 日本産業教育学会 学会奨励賞 桐原賞	
2009 年 3 月 東北大学 総長賞	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別：若手研究 B（代表者） 挑戦的萌芽研究（分担）	650千（3年間で2,470千） 300千 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市(平成 28 年度大学まちづくり政策形成事業)メンバー	400千円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 地域課題解決フォーラムにおける司会、発表。 COC 事業 地域リーダー育成部会 部会員

研究業績報告

氏名	小関 久恵
職位・系・コース	講師・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	社会福祉職養成教育における人文・社会科学系教養教育の意義	大学教育学会第38回大会ラウンドテーブル「保健医療福祉系大学における教養教育の問題(7)－いま再び、専門職養成教育における人文・社会科学系教養教育の意義を問う－」		2016（平成28）6月11日	小関久恵

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
大学教育学会、日本社会福祉教育学会、日本社会福祉学会
②各種学会における活動状況
日本社会福祉教育学会理事（事務局長）を務める（平成26年8月～）。
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1 件	文部科学省地（知）の拠点整備事業（平成28年、プロジェクト型）	300,000 円

			円
--	--	--	---

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) COC 事業における地域リーダー育成部会員として鶴岡市加茂地区での活動や、今年度より開始した長期学外学修プログラム（酒田市日向地区）の担当として地域課題解決に向けた活動を展開している。

研究実績報告

氏名・生年月日	齋藤 建児
職位・系・コース	助教・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「地域包括ケアシステムによる医療・介護費用の抑制-マクロ計量モデル分析による介護離職の経済分析」	『東北公益文化大学プロジェクト型研究報告書』（東北公益文化大学）	全 35 頁	2016 年 3 月 31 日（昨年度未報告のため掲載）	三木潤一、齋藤建児、水田健輔、入江啓彰
2	「SNS 活用による公民が連携した地域包括ケア体制の構築」	『岩手県立大学地域政策研究センター地域共同研究』研究成果報告集 4（岩手県立大学）	48-49 頁	2016 年 9 月 15 日	小川晃子、小柳達也、齋藤建児、鈴木千紘、真田淳、横道廣吉
3	「過疎地における住民主体の体制づくり」	『岩手県立大学地域政策研究センター地域共同研究』研究成果報告集 4（岩手県立大学）	60-61 頁	2016 年 9 月 15 日	小川晃子、小柳達也、齋藤建児、鈴木千紘、横道廣吉
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等（必須）
日本福祉介護情報学会、日本社会福祉教育学会、日本社会福祉学会、日本老年社会科学会
② 各種学会における活動状況
基礎研究のため第 11 回日本応用老年学会大会に参加。東京大学高齢社会総合研究機構第 2 回共創まちづくり研究会に参加。
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 特になし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 岩手県立大学地域政策研究センター地域共同研究「SNS 活用による公民が連携した地域包括ケア体制の構築」、「過疎地における住民主体の体制づくり」に 2016 年 9 月まで参加

研究実績報告

氏名・生年月日	バンティング ティモシー
職位・系・コース	国際教養

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	ニュージーランド から見た庄内 by Timothy Bunting			2016年 5月	
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	Effective Learning through use of word cards			2016年10 月23日	バンティング ティモシー

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
JALT, Institute of New Zealand Studies,
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別：	円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

研究実績報告

氏名・生年月日	松尾慎太郎
職位・系・コース	助教・地域経営系・経営コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1	公正価値監査一保証水準の観点から－	関西学院大学		2016 年 (平成 28 年)	松尾慎太郎
②著書 (翻訳含む) 及び辞書等					
1	「第 7 章日本内部監査協会と公認内部監査人」(『例解内部監査の考え方と実務』所収)	一般社団法人日本内部監査協会	95-105 頁	2016 年 (平成 28 年)	林隆敏・浦西完次・浦西重輔・島戸俊明・芳野政巳・堀古秀徳・松尾慎太郎
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	財務諸表監査における保証水準の決定要因	関西学院大学商学研究會	第 62 巻第 3 号 101-121 頁	2015 年 (平成 27 年)	松尾慎太郎
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	アメリカにおける財務情報の質的特性的変遷：測定属性との関連を中心にして	関西学院大学大学院商学研究科研究会	第 67 号 101-118 頁	2013 年 (平成 25 年)	松尾慎太郎
2	会計監査と財務報告保証業務：ディスクロージャー制度の体系化を目指して	関西学院大学大学院商学研究科研究会	第 68 号 101-117 頁	2014 年 (平成 26 年)	松尾慎太郎
3	財務諸表監査における保証	関西学院大学大学院商学研究科研究会	第 71 号 23-32 頁	2016 年 (平成 28 年)	松尾慎太郎
⑤総説・解説等					
1	特になし。				
⑥国際会議発表論文等					
1	特になし。				
⑦口頭発表等 (招待講演・学会発表等)					
1	財務諸表監査における保証水準の決定要因	第 73 回日本会計研究学会自由論題報告		2014 年 (平成 26 年)	松尾慎太郎

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)：日本会計研究学会、アメリカ会計学会、国際会計研究学会、日本監査研究学会
②各種学会における活動状況：会員。
③学会賞等の受賞状況：特になし。

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	大学まちづくり地域政策形成事業	200,000 円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1 件	日本内部監査協会	500,000 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 特になし。
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 特になし。

研究実績報告

氏名・生年月日	中原 浩子
職位・系・コース	日本語 助教

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発 行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	観光教育が学 生の社会人基 礎力養成に与 える効果	第31回 日本観 光研究学会 全国大会 学術 論文集	2016年12月 421頁	2016年12 月（平成 28年）	中原浩子
2	学生が取り組 む地域観光の 形～酒田おも てなし隊に見 る社会人基礎 力の養成～	日本観光研究 学会東北支部 大会 Newsletter 第6 号	2016年1月 2頁 http://jitr.jp/wp/wp-content/uploads/2016/01/Tohoku-Travelogue-006.pdf	2015年12 月（平成 27年）	中原浩子
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	地域の良さを 伝える人材の 必要性－JR 東 日本「駅からハ イキングを事 例に」	日本観光研究 学会東北支部 大会 17号	http://jitr.jp/wp/wp-content/uploads/2017/02/Tohoku-Travelogue-017.pdf	2017年（平 成28年12 月）	中原浩子・ 山崎侑斗

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本観光研究学会、異文化コミュニケーション学会
②各種学会における活動状況 学会員として全国大会で発表、
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ ⑤無	種別：	円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	2	伊藤技研	500000 円
		ソロプチミスト協会	50000 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 鳥海山プロジェクト～ロングトレイルの可能性 酒田おもてなし隊 酒田地域づくり女流塾